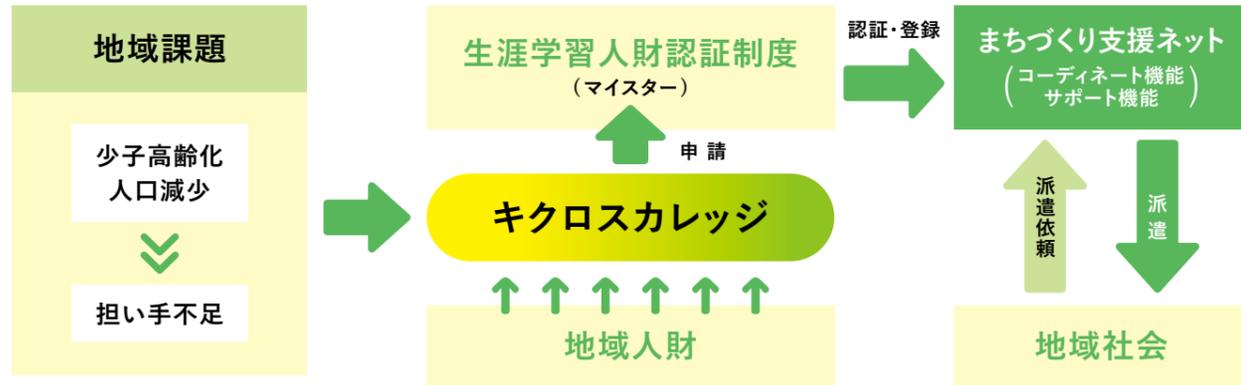


キクロスカレッジ構想



市のまちづくり研修に参加したメンバーで立ち上げた「きくち未来編集部」が企画し、ふるさと創生市民広場で開催しているSLOW DAY KIKUCHI

開設コース

防災

学校や自治区などで、防災教室、防災訓練などの指導者としての活動

花と緑

緑化を中心とした市民主体の景観づくりの指導者としての活動

デジタルアーカイブ

地区に残る地域・歴史遺産に関するデジタルアーキビストとしての活動

ワールドフレンズ

多文化共生社会を推進するリーダーとしての活動

スポーツ

児童を対象に「人づくり」「体づくり」を目的とする指導者としての活動

歴史・文化

学校などを対象に郷土学習や現地案内などの指導者としての活動

地域の中には、すでに専門的な知識を持ち、課題解決に向けて活動している人たちがいます。また、知識はまだなくとも、同じ思いを持つ人も多くいます。その人たちの意欲や専門性をさらに高め、実践的なスキルの習得を目指す新たな学習機会が「キクロスカレッジ」です。カレッジでは、地域や行政が

抱える課題と各種団体のニーズに対応する6つのコースが設けられています。大学教授や民間企業の代表者など、各分野の専門家を講師に迎え、6月から12月にかけて14日間で全28講座を開講。座学・演習・実習を組み合わせたカリキュラムにより、確実なスキルアップを可能にしています。これまでの4年間で、延べ128人が受講し、内120人が修了しています。

基礎となる1本目の柱「キクロスカレッジ」

育成と活動が循環する仕組み キクロスカレッジ構想

令和4年度から実施しているこの構想は、3本柱の取り組みを一体的に推進し、理想的な循環を創り出しています。

市が目指すもの

市では、郷土が人を育み、人が郷土を育む自立・自走のまち

歩みを進めています。

最大の地域資源は「市民力」
近年は、少子高齢化や人口減少による担い手不足により地域課題が多様化しています。一方で、デジタル技術の向上や多文化共生など、課題解決に必要な取り組みも生まれています。社会の変化に適応し、地域課題の解決や地域の魅力を生かしたまちづくりを行うためには、市民の力が必要不可欠です。

「きくち未来編集部」が企画し、ふるさと創生市民広場で開催しているSLOW DAY KIKUCHI

最大の地域資源は「市民力」

づくりを推進しています。そのために、子どもから大人まで幅広い世代に新たな知識や経験を得る機会の提供や、地域の人財と協働で行う市民参画のまちづくりなど、大学や民間企業とも連携しながらさまざまな事業を実施しています。

問い合わせ先

中央公民館 ☎0968(25)1672
市長公室 ☎0968(25)7252

急速な社会変化に対応し、誰もが住みやすい持続可能なまちをつくるには、市民一人一人の力が必要です。郷土を育む人づくりについて、市の取り組みを紹介します。

郷土を育む「市民力」

菊池市が取り組む人財育成

市が取り組む主な人財育成や市民参画の事業

中学生

- プラチナ未来人財育成塾(関連13号)
- プラチナ森の学校きくち
- 子ども議会

高校生

- 公営塾「菊池前進塾」
- ハイスクールフェスティバル
- 熊本大学との高大連携事業

若者

- フューチャーラボ KIKUCHI (H30~R2)
- きくち未来創造塾

起業

- きくち起業塾

農業

- 実践農業者経営力養成セミナー

市民

- 菊池市キクロスカレッジ

市民参画

- SDGs未来都市まちなかデザイン会議
- かわまちづくり
- 菊池温泉街リブランディング事業 など



令和7年度修了生
岩根公孝さん(岩本)

インタビュー | 受講生の声

新たな知識と仲間に出会える大切な機会

観光案内人をしていて、その仲間に誘われて歴史・文化のコースを受講しました。自分でも地域の歴史を勉強していましたが、受講したことでさらに知識が深まりました。それだけでなく、案内人として分かりやすく説明する話し方や、自分が案内する観光コースの新しい企画も考える講

座があり、実践的なスキルも高めることができました。地元でこんなに内容が深い勉強ができて、ありがたく思っています。また、同じ考えを持った受講生と出会うことができるのも魅力の一つです。受講生同士でも意見交換をすることができ、とても刺激になりました。



官民連携から民民連携へ

マイスターの他にも、市の事業をきっかけに新たな取り組みを始めた人々がいます。それぞれが思い描くまちの実現に向け、活動を続けています。

きくち未来編集部



菊池の魅力を編集し、コトを起こす

代表
岡崎史裕さん
(木柑子)



Instagram

平成30年に開催されたまちづくり研修会「フューチャラボ KIKUCHI」のメンバーで平成31年4月に結成しました。活動テーマは「菊池の魅力を編集し、コトを起こす」。自分たちが誰よりも菊池を楽しみながら、自由な発想やアイデアを出し合い活動中です。SLOW DAY KIKUCHIやカレーフェスなど、菊池に人を呼び込むイベントを開催しています。

他にも「きくちーずチャンネル」というインターネットラジオで菊池のリアルを配信したり、地域の食材を使ったサウナ飯のプロデュースなど、菊池の良さをいろんなカタチに編集して、その魅力を多くの人に届けていきます。



SLOW DAY KIKUCHIでは、来場者が出張図書館やマーケットなど、思い思いの時間を過ごしています

まちのたねラボきくち



住む人が楽しいと思うまちを目指して

代表
狩野唯さん
(亘)



Instagram

令和4年度から「まちなかデザイン会議」に参加し、より自主的な取り組みをするために、昨年7月から「まちのたねラボきくち」として活動を始めました。メンバーの得意なことを生かしながら、菊池のしらべや初市など、隈府のまちなかで行われるイベントに関わっています。

昨年10月には、(株)八方建設から寄付をいただき、ふるさと菊池応援大使の講演会や、フランスで活躍する音楽トリオを招いたスクールコンサートを開催することができました。本物の音楽を子どもたちに届けられ、感謝しています。

まちなかを中心に、地域のいろいろな人や団体と協力しながら、住んでいる人が楽しいと思えるまちを目指して活動を続けていきます。



御所通りの一体で開催された菊池のしらべ

地域で躍動するマイスター

キクロスカレッジの修了生は、自らの意志で次のステップへと進み、地域を育む人財「マイスター」として、新たな活動を開始します。

人財を認証・登録する2本目の柱
「生涯学習人財認証制度」

郷土に誇りと愛着を持ち、豊かな経験や専門的な知識を有する市民を菊池市生涯学習マイスターとして認証・登録する制度です。

キクロスカレッジの修了生は、自らの意志で登録申請を行います。その後、生涯学習人財認証審査会で審議を経たのち、マイスターとして正式に登録されます。

キクロスカレッジを修了した人財を、まちづくりを推進する専門家として登録することで、自信と誇りを持ち、使命感を持って活動することが出来ます。

また、地域での活動や自身の活動を振り返る機会としてフォローアップ研修を年に2回実施しています。活動を振り返ることで、さらなるスキルアップを図るとともに、マイスター同士のネットワーク強

化につなげています。

令和7年度に新たに33人が登録され、延べ120人がマイスターとして活動してまいります。

人と地域をつなぐ3本目の柱
「まちづくり支援ネットワーク」

マイスターが積極的に活動し、地域の活性化を推進するためには、市民や地域のニーズに応じたマッチングが必要です。そのマッチングを支援するのが「まちづくり支援ネットワーク」です。

中央公民館に事務局を置き、地域や団体からの相談や要望、派遣依頼を受け付け、適切なマイスターを紹介し、地域へ派遣しています。

マイスターは有償ボランティアとして派遣され、申請団体から報酬が支払われる仕組みです。現在では、年間200回を超える活動が行われています。



【スポーツマイスター】
放課後児童クラブでニュースポーツ体験



【防災マイスター】
市商工会女性部主催の防災セミナー



【歴史・文化マイスター】
地域の史跡について校外学習

インタビュー | マイスターの声

誰もが健康で長生きできる社会を目指して

令和5年からマイスターとして、子どもたちの総合スポーツ指導をしています。

現代は人生100年時代といわれていますが、大切なのは健康寿命です。指導する中で、昔と比べて体が硬い子どもが増えていると感じています。体が硬いと、30~40代のうちに膝や腰などが悪くなる

可能性が高まります。少しでも体を動かし、子どもたちが健康で長生きする手助けができるよう、活動を続けていきます。

大人向けの活動も増やしていきたいと考えています。そのためにはマイスター仲間が必要です。少しでも興味がある方は、気軽に事務局へ相談してみてください。



スポーツマイスター
稲田益城さん(下赤星)

次世代のために
持続可能なまちづくりを

今回紹介したキクロスカレッジ構想は、(一社)プラチナ構想ネットワークが主催する第13回プラチナ大賞で、優秀賞・地域人財活躍賞を授賞しました。

人財を育成するだけでなく、活躍の機会をつくる循環の仕組みが評価され、県内外から視察に訪れたり、問い合わせが寄せられたりしています。

マイスターの登録者や活動実績は年々増加し、地域づくりへの意識が高まっています。

一人一人の力を結集し、次世代へつなげる持続可能なまちづくりに向けて、共に歩んでいきましょう。



プラチナ大賞の詳細



第13回プラチナ大賞の表彰式